

●男子新体操【個人競技】

クラブ、スティック、リング、ロープの4つの手具を使用し、手具操作と多様な動き、タンブリングを組み合わせた演技を行う。手具と身体が一体となった演技は団体競技とはひと味違った印象を与える。演技時間はそれぞれ1分15秒～1分30秒。種目ごとに構成5点、実施5点の合計10点満点で行われる。昨年は2種目の合計点で競っていたが、今年全日本ジュニアは4種目で行う。

3兄弟のトップを切ったのは綾人くん。スティックの9番目に登場した綾人くんは、昨年の全日本ジュニアを経験していたからか、とても落ち着いているように見えた。入場からスタートの姿勢に入るまで、自分の空間を創り競技に臨んでいた。多くの選手が手具を落とすなどのミスをする中、ほぼ完璧な演技を披露。9・025点という高得点をたたき出した。

9点台は優勝するための一つの目安とされ、9点台にのせるか否かは審判の分かれる部分ともいわれている。綾人くんは続くクラブもほぼノーミスで自分の演技を行い9・125点。初日を終え総合2位という最高の滑り出しを見せた。

個人競技は佐藤綾人くんが5位入賞を果たす！
嘉人くんは10位、颯人くんは13位と健闘

団体競技と異なり、個人競技は13人四方のマットが広く感じる。ただ一人で演じる重圧は並大抵のものではない。頼れるのは自分のみ。その中で求めるものはただ一つ。点数よりも、順位よりも、自分が納得できる演技をしたい。その思いさえあればどんな壁も乗り越えられる。可能性は無限大だ。

個人競技 それは「自分自身」との戦い
マットの上には自分一人
重圧に打ち勝ち、いかに自分の演技をできるかが勝負の分かれ目

個人総合成績 ※()内は種目別順位

選手名	クラブ	スティック	リング	ロープ	総合得点	総合順位
佐藤 綾人	9.125(2)	9.025(2)	8.925(4)	8.750(8)	35.825	5位
佐藤 嘉人	8.800(7)	8.200(26)	8.400(13)	8.875(5)	34.275	10位
佐藤 颯人	8.775(8)	8.600(14)	8.000(19)	8.450(16)	33.825	13位

キューブ新体操教室随時入団受付中
平成9年設立。4歳児から中学生まで約90人が通い練習に励んでいる(男子は約4割)。各種大会への参加のほか、鬼小十郎まつりなど地域のイベントにも参加している。
●練習日 毎週火・金・土・日曜日
※練習時間や受講料などは、学年(コース)により異なるため、詳しくはお問い合わせ。
☎ホワイトキューブ ☎22-1290

上に実りのある大会となったはずだ。3人はまだ中学1年生。この先、「もっとタンブリングが強くなったら」「さらに表現力の幅を広げたら」と想像しただけでワクワクする。その可能性は無限大だ。

気がかりなことは、男子新体操を部活動として行っている高校や大学が、宮城県には少ないこと。宮城の地でジュニアからシニアまで育てられるような環境ができれば、子どもたちの夢は大きく広がるのではないだろうか。それはスポーツに限ったことではない。夢を応援できる体制が今、求められている。

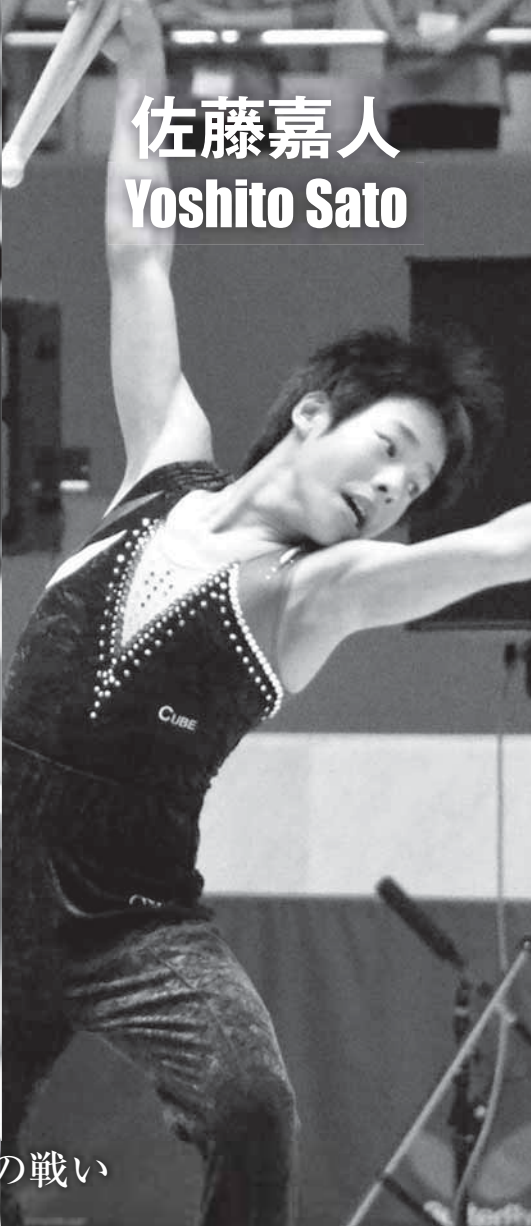
新体操を身近で見たことがない方は、ぜひ一度ご覧になることをお勧めする。彼らの演技や表情が生み出す空間に引き込まれることだろう。



佐藤綾人
Ayato Sato



佐藤颯人
Hayato Sato



佐藤嘉人
Yoshito Sato

